

# 発達障がいの人を知ろう

発達障がいとは、脳の機能の発達に関係する障がいで、他人との関係づくりや、コミュニケーションなどが苦手ですが、優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくい障がいです。

発達障がいには、自閉スペクトラム症(ASD)、学習障害(LD)、注意欠如多動性障害(ADHD)、その他これに類する脳機能の障がいがあります。

いくつかの発達障がいの特性を持っている人もいますので、どのような配慮が必要かは個人により大きく違います。

## こんなことに困っています…

### ● 自閉スペクトラム症(ASD)

周囲の状況を読み取ったり、人の表情から気持ちを読み取ったりすることが苦手です。

他人との関係づくりや、コミュニケーションが苦手です。



### ● 注意欠如多動性障害(ADHD)

長時間座っていることや、じっとしていることが苦手で、そわそわと休みなく動いてしまう場合があります。



外見からは分かりにくい障がいのため、障がいが原因のパニック症状等も「しつけができていない」などと誤解されることがあります。



### ● 学習障害(LD)

読むことや書くこと、計算することなどのうち、いずれかだけが難しいという人もいます。



## わたしたちができることは？

◆ 同時にたくさんのことを指示されると、適切な順位を付けられない場合があります。

分かりやすい言葉で伝えたり、取り組む順番や開始時間などをメモで渡すなどの配慮が必要です。

◆ 不安の強い人、感覚が敏感な人もいますので、適度な声の大きさで、笑顔で対応しましょう。



◆ たくさんの方がいる場所や狭い空間などで会話や作業などを行っている時に、パニック症状等を起こす人もいます。

この場合、少しの時間待つことで、早く落ち着くこともあります。

周りの人が理解して、温かい目で見守ることで、本人も楽になれます。

